
はじめに

本書は、東北大学の学生がレポートや論文を作成する時に必要な、文献や情報を調べるための基礎的な知識と技能を習得することを目的としています。

インターネットが普及し、どのパソコンからでも世界中のウェブサイトを検索できるようになり、いつでも電子化された情報を見ることができるようになりました。しかし一方、ウェブサイト上で無料で見ることのできる情報は「玉石混淆」ともいわれ、学問的に評価された学術的情報だけではないことはご存知のとおりです。

ノーベル賞の例で分かるように、最先端の学問研究では、誰よりも先に新しい研究成果を発表することが重要です。そしてそのためには、自分が研究するテーマに関連する学術的な研究論文などを探し、すでに誰かが研究していないかをしっかり調べる必要があります。

また、そもそも新しい研究を始めるには、今までどのような研究がなされてきたかを展望することが不可欠であり、そのためにも学術的な文献や情報を調査する知識と技能の習得が必須となります。

大学で課せられるレポートや論文は、以上のような研究方法を身に付けるための訓練です。読書感想文のように自分の考えだけを記述するのではなく、今まで公表された研究論文・記事などの内容を踏まえて、自説を展開する必要があります。

大学図書館では、膨大な資料の中から皆さんが必要とする情報を探し出すため、印刷体の辞書・事典・目録のような情報探索ツール（道具）のほかに、次のような電子的ツールを用意しています。

- ・ 図書・雑誌を探し出すためのオンライン目録
- ・ 研究論文を探し出すための文献情報データベース
- ・ 論文そのものを読むための電子ジャーナル

今や、印刷体のツールに加え、これらの電子的ツールを使いこなすことなしには、網羅的な情報探索は不可能となっています。本書では、大学入学以前に利用することのなかったこれら電子的ツールの具体的利用法を中心に、情報探索の方法を説明しています。本書を通読することで、東北大学の学生として持つべき「文献と情報の探し方」を身に付けることができるでしょう。

この本の目的

